

年度	2024		
科目名	EVE 国際マネジメント演習 I		
英文科目名	International Management Seminar I		
学期	後期前半	単位	2
教員名	中塚 昭宏		
英文教員名	NAKATSUKA Akihiro		

講義概要/Course description

問題解決に関する文献の輪読を行います。1人あたり3～5回程度の発表を予定しています。履修者の人数に応じて、1人あたりの発表回数を調整します。1回あたりの発表時間の目安は、30～40分程度です。ディスカッションへの参加のため、発表を担当する部分以外も予習が必要です。

また、QCサークル活動を模擬的に実践します。青山学院購買会（以下、購買会）から提供された実際の入庫・売上・在庫実績データを基に、問題解決型QCストーリーに準じて需給オペレーションの対策案を検討し、購買会にフィードバックします。学生の方が主体的に運営するQCサークル活動の形式を基本とするため、担当教員による指示や説明をあえて必要最小限とします。ただし、購買会に提出する最終報告書に関しては、担当教員による指示があります。オペレーションズ・マネジメント、オペレーションズ・リサーチ、サプライチェーン・モデリングで学んだ内容を実践したい学生の方に向けています。授業以外の日時に購買会と打ち合わせを複数回行う場合があります。この打ち合わせに参加できない場合でも成績評価で不利に扱うことはありません。

達成目標/Course objectives

1. データや観察結果などから事実を的確に捉えられるようになること
2. 的確に捉えた事実から問題を発見して解決できるようになること
3. オペレーションを担う部門の業務を定量的思考により分析できるようになること
4. サプライチェーンを考慮に入れた上で、定量的思考に基づいた需給オペレーションを理解して実行できること

学部・研究科のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、当該科目を履修することで身につく能力 /Abilities to be acquired by completing the course in accordance with the faculty and graduate school diploma policy (graduation certification and degree conferral)

知識・技能

Knowledge and skills

思考力・判断力・表現力

Ability to think and judge, and power of expression

意欲・関心・態度

Motivation, interest, and attitude

履修条件（事前に履修しておくことが望ましい科目など）/Prerequisite

統計分析 I とオペレーションズ・マネジメントの単位を取得済みであることを履修条件とします。需給オペレーションを未経験の学生の方は、サプライチェーン・モデリングの単位を取得済みであることが望ましいです。定量的思考を扱うオペレーションズ・リサーチを履修するとより理解が深まります。また、購買会から提供されたデータに関する秘密保持義務の誓約書を提出することが必要です。

授業計画/Lecture plan

講義回		
1	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
2	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
3	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
4	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
5	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
6	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
7	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
8	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
9	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
10	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
11	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
12	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
13	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
14	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
15	授業計画	文献の輪読とQCサークル活動
	事前学習	文献の予習と担当部分の発表資料の作成 QCサークル活動の準備 (第1回目は、オペレーションズ・マネジメント、オペレーションズ・リサーチ、サプライチェーン・モデリングの復習)

事後学習	文献と発表資料の復習 QCサークル活動のふり返り
------	-----------------------------

授業方法/Method of instruction

区分/Type of Class	対面授業 / Classes in-person
実施形態/Class Method	ハイブリッド型ハイフレックス形式 / hybrid high flex
活用される授業方法/ Teaching methods used	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション presentation <input type="checkbox"/> PBL (課題解決型学習) project-based learning <input type="checkbox"/> 反転授業 (知識習得の要素を教室外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) reverse teaching(a class style where students educate themselves out of class beforehand, and use the class period to confirm the knowledge one has gained.) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート discussion / debate <input type="checkbox"/> グループワーク group work <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク field work <input type="checkbox"/> 上記に該当しない none of the above

成績評価方法/Evaluation

	種別/Type	割合/Ratio	成績評価基準/Grading Criteria
1	レポート Report	60%	担当部分の発表資料 (個人) と購買会に提出する最終報告書 (グループ) とします。
2	平常点 In-class Points	40%	授業への取り組み姿勢 (理解への貢献, 発表のわかりやすさとユニークさなど) を評価します。

教科書/Textbooks

1	著者名/Author	川瀬武志
	タイトル/Title	IE問題の基礎
	出版社/Publisher	日刊工業新聞社
	出版年/Published year	2007年
	ISBN	9784526058202
	価格/Price	3,200円

メッセージ/Message

教室設備の都合上、履修者の上限を20名とする場合があります。上限を超える場合は、履修者の選抜を行います。第1回目の授業で選抜方法を説明しますので必ず出席してください。授業では、WindowsのPCを前提に説明します。必要に応じて教室のPCを使用してください。

その他/Others

この科目のILO (Intended Learning Objective) は、以下の通りです。

ILO 1 | 企業経営の主な機能について深く理解していることを示すことができる。

ILO 2 | 国際マネジメントに関する基本的理論や基本的概念を明確に説明することができる。

ILO 3 | 問題を発見し、関連する理論を適用して問題を解決することができる。

ILO 4 | 定量的および定性的な分析方法を応用することができる。

ILO 5 | 国際マネジメントの分野で十分なコミュニケーションをすることができる。

ILO 6 | 国際的な視点から経営倫理、社会的責任、持続可能性を理解し認識することができる。

ILO 7 | 国際マネジメントに必要なリーダーシップを発揮することができる。